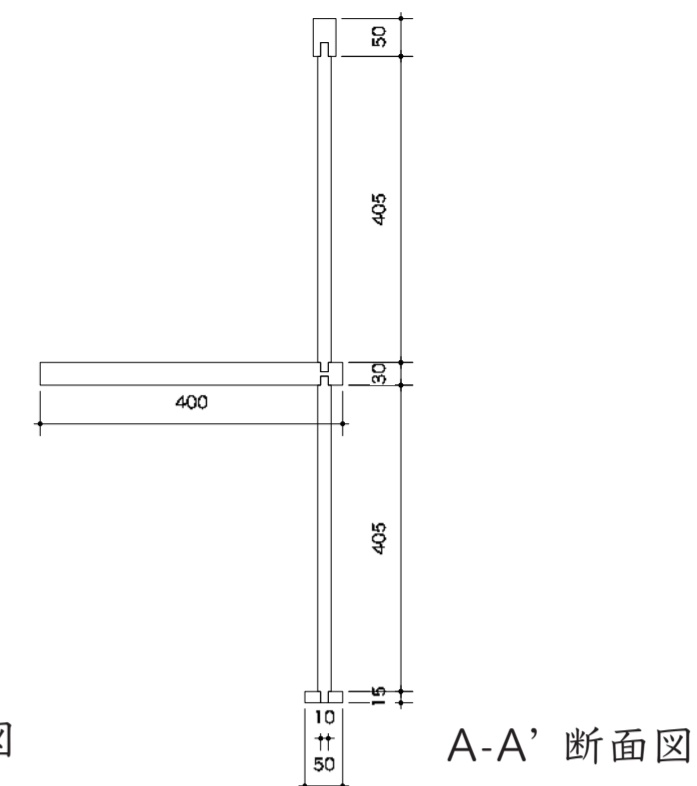
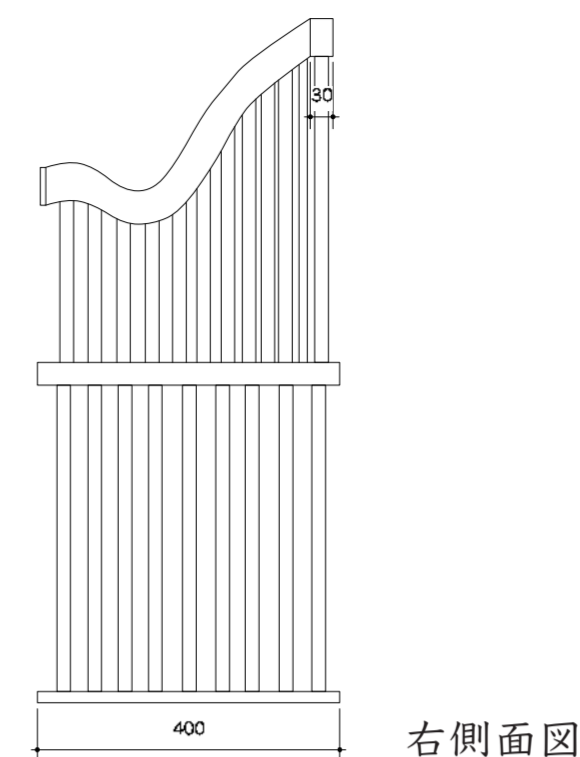
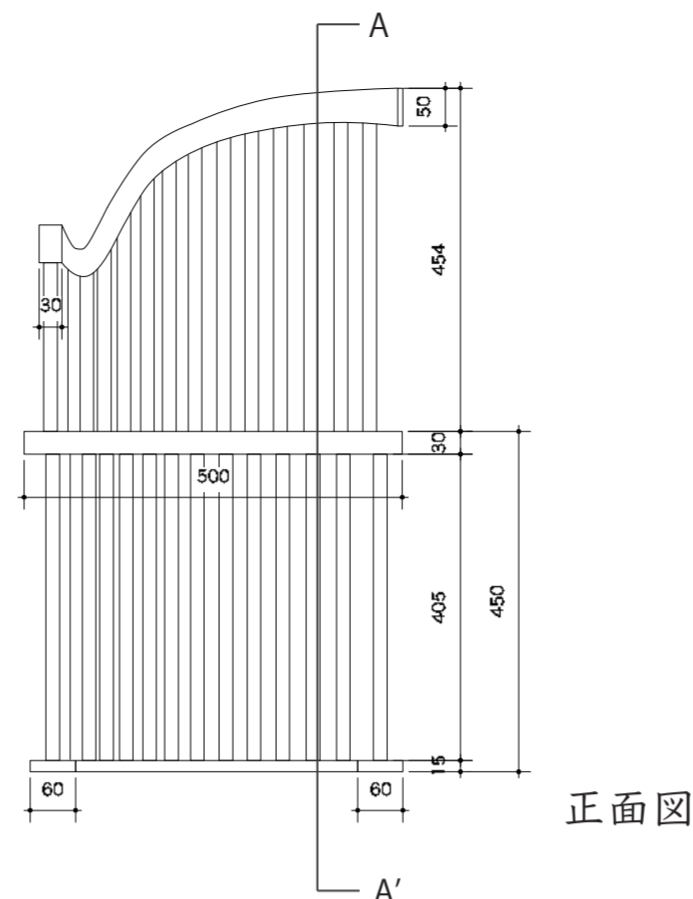
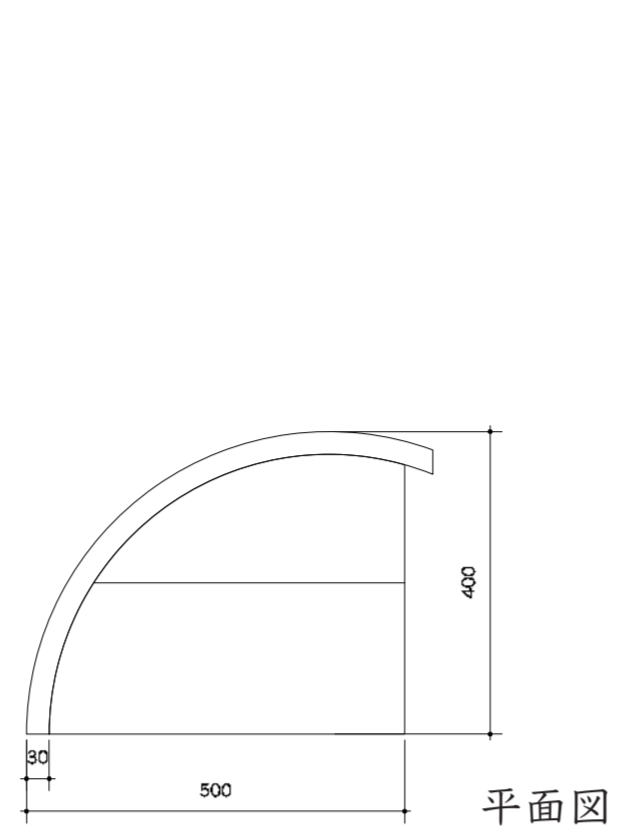
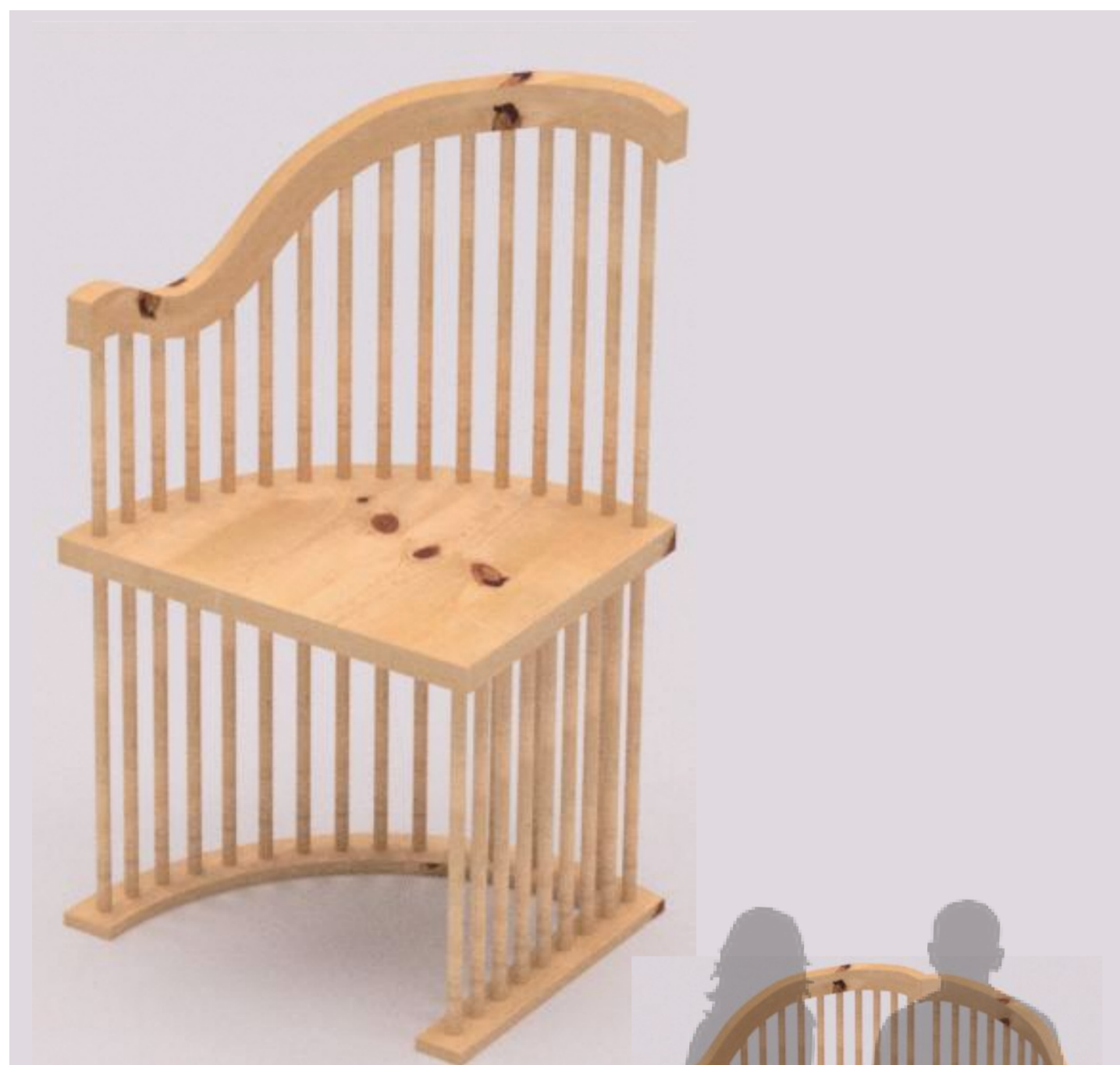




なからぎ

半木の椅子



※塗装はウレタン塗装とする。

concept

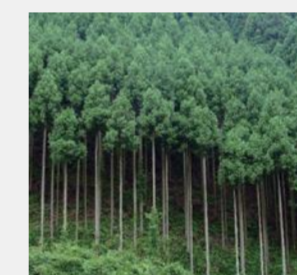
北山地方で育てられ、茶室や離宮、住宅の和室など、古くから人々の生活に寄り添ってきた、「京都府の木」北山杉。

材質も緻密で硬く、曲げに強く、上下で太さが変わらずまっすぐというこの良質な京都のブランド材を活かし、そして京都の原生林が残る「半木の森」のある京都市立植物園で木々を感じ、木々に馴染むデザインを提案します。

なからぎ 半木とは...?

- ◆上賀茂神社と下鴨神社の中間に位置し、「半木の森」と呼ばれた
- ◆森のなかに椅子が、そしてそのなかに人が包まれるイメージ
- ◆1対の椅子が半分になったデザイン

idea



- ①北山杉の森を落とし込んだデザインで、植物園の森に溶け込む
- ②アームレフトが枕にもなり、木を見上げ、木を感じられる
- ③対になる2つの椅子を合わせるとベンチに
- ④片側のアームレフトがないことで、子どもやお年寄りが横から座ることができ、椅子を大きく引かずに利用できる
- ⑤曲げに強い特性を活かして、背もたれを曲木に
- ⑥緻密で硬くまっすぐな特性を活かして、ルーバーに



※屋内・屋外どちらにも設置可能。